

おぐに

● 広報



— 地元の声援を受けて —

第61回西置賜地区駅伝競走大会が、11月4日、おぐに開発総合センターをスタートに全12区間49.7kmで健脚を競った。スタート地点には多くのかたが集まり、第1区の選手たちが9時15分の号砲とともに威勢よくスタートを切ると、大きな声援が飛び交った。小国チーム1区を走る山口小雪希さんも地元の声援を受けてスタートダッシュ。がんばれ小国！

2019
12
No.782

地域全体で子どもを育む

～子育て環境の充実と、子育てしたい町を目指して～



幼稚園や認定こども園、保育園に通う3歳から5歳児の子どもと、一部の0歳から2歳児の子ども利用料が無料になる、いわゆる幼児教育・保育の無償化が今年10月からスタートしました。本町では、これに合わせて町独自で副食費の支援を開始しました。さらに、これまでも子育て世代の負担軽減や子育て環境の充実を図るため、保育料の軽減や高校生までの医療費無料化などの支援とともに、子育て支援センターの設置や子育て世代へのサポート事業などを展開してきました。今月は、本町の子育て支援に係る各種施策や取り組みを紹介するとともに、消費税増税に伴う国の子育て関連制度などについて紹介します。

小国町の子育て支援

■特定不妊治療費助成

不妊に悩み、不妊治療を受けている夫婦に、国および県が実施する特定不妊治療助成制度に上乗せして助成

■妊婦健診費用補助

全14回（妊娠12週前後～40週前後）分の健診費用を助成

■妊産婦歯科健診費用助成

母子手帳交付時から産後6カ月までに、1回分の費用を全額助成

■妊産婦さん相談

妊娠中の体や胎児のこと、産後の体と心、授乳の方法や乳房に関する悩みなどの相談で、初回の相談費用を町が負担

■両親学級

妊娠されたかたとその配偶者のかたを対象に、妊娠・出産・育児に関する学習会を実施

■風しん抗体検査・予防接種費用助成

妊娠を予定または妊娠している女性とその家族を対象に、風しん抗体検査および予防接種費用を助成

■出産支援金

母子手帳の交付を受けたかたに、5万円（お祝い金2万円、白い森共通商品券3万円分）を贈呈

■赤ちゃん応援ギフト事業

出生児に記念品と子育て支援パンフレットを贈呈し、子育て家庭を応援

■新生児訪問



少子化の進行と環境変化

41人。これは平成29年に小国町で生まれた子どもの数です。平成8年には110人、平成18年には63人と出生数が年々減少しています。これは、人口減少社会に突入した日本では、全国各地でほぼ同様の状況にあります。日本全体の年間出生数は、第1次ベビーブーム（昭和22～24年）に約270万人、第2次ベビーブーム（昭和46～49年）に200万人でしたが、それ以降年々減少を続け、平成29年には94万人となっており、加速度的に少子化が進行しています。

少子化の進行には、未婚率の上昇や晩婚化、晩産化などさまざまな要因があげられ、結婚や出産に対する価値観の変化や、子育てに対する負担感、経済的な不安などが少子化の大きな原因といわれています。また、核家族世帯の増加や共働き家庭など、子育て環境も大きく変化し

ています。

町では、こうした社会環境の変化に対応し、心豊かで健やかな小国つ子を育んでいくため、平成27年1月に「小国町子ども子育て支援事業計画」を策定し、各種の子育て支援策を展開しています。主な支援内容についてはページ下段にその概要を掲載していますが、これまでも妊娠・出産・育児などそれぞれの段階に応じたさまざまな事業を展開しています。



子育て支援センター

町では、子育て家庭に対する育児支援を行い、地域全体で子育てを支援する基盤づくりを進めるため、平成14年度から小国町子育て支援センター（以下「支援センター」という。）を設置しています。支援センターでは、主に保育園等入園前の子どもとその保護者を対象に、遊びの場を提供するとともに、保護者同士のふれあいや育児に関する情報交換、悩み相談の場として機能しています。

0歳と2歳の子どもを持つ、支援センターを利用されている斎藤晴美さん（岩井沢）は、「上の子が4カ月健診の時、先生に声をかけてもらい支援センターを利用し始めました。保育園の中ということもあり、場所や利用方法など不安でしたが、実際に利用してみると、部屋も広く、子どもの興味をひくおもちゃがたくさんあり、同年代の子ども

生まれた子どもと産婦さんを対象に保健師が家庭を訪問し、発育・発達や育児相談を実施

■乳児の健康相談

乳児を対象とした保健師・栄養士の健康相談を実施

■乳幼児健康診査

4カ月児・1歳児・1歳6カ月児・3歳児の健康診査、2歳児の歯科健康診査

■タッチケア

生後2カ月から歩く前の乳幼児を持つ保護者に、専門の指導員が赤ちゃんとのふれあい遊びやベビーマッサージを指導

■ブックスタート

4カ月児健診時に、乳児の心の発達に大切なやさしい声での語り掛けで保育士が読み聞かせをし、本を贈呈

■予防接種費用助成

乳幼児および児童生徒の定期接種および一部任意接種費用を助成

■フツ素塗布・フツ素洗口

1歳6カ月から3歳まではフツ素塗布を、年中・年長児にはフツ素洗口を実施

■未熟児養育医療給付

養育のため入院が必要な未熟児に対し、医療に要する費用を支給

■ファミリー・サポート・センター

子育てのお手伝いをしてほしいかたとお手伝いしたいかたが会員登録し、会員相互により援助活動を行う

■児童手当

中学校卒業までの児童生徒を養育しているかたに、児童の年齢等に応じて手当





▲斎藤晴美さんと翠くん親子

が集まるため、子どもにも刺激
になっていいですし、私自身も
色々なかたと話をすることがで
きて、子どもと自分自身の気分
転換になっています。」と話し
てくださいました。

また、支援センターでは月1
回程度、専門の講師を招き子育
てに関するさまざまな分野の情
報を提供する子育て講座や誕生
会、ブックスタートなどの事業
を展開しています。

保育料の無償化がスタート

国では、今年10月から消費税
増税に伴う子育て世帯への支援
策を講じています。

そのひとつが、プレミアム付



▲支援センターでは写真アートなども行っている

商品券です。これは、住民税非
課税のかたや小さな乳幼児のい
る世帯を対象に、対象者1人に
つき最大2万5千円分の商品券
を2万円で購入できるもので、
子育て世帯については、自宅に
届いた購入引換券と本人確認書
類を販売窓口で提示することで
購入が可能です。

もうひとつが、幼児教育・保
育の無償化です。これにより、
3〜5歳児までの全ての子ども
と、0〜2歳児までの住民税非
課税世帯の子どもの保育料が無
料となりました。

一方で、これまで保育料の中

に含まれていた子どもたちに保
育施設で提供される食事（おか
ず・おやつ）の実費相当額であ
る「副食費4500円」につい
ては、無償化後も引き続き、3
〜5歳児の年収360万円以上
世帯の第1子と第2子、0〜2
歳児の住民税非課税世帯と第3
子以外の子どもについては、保
護者に負担を求めることとなっ
ています。また、副食費につい
ては、各保育施設が保護者から
直接徴収しなければならな
いなど、複雑かつ煩雑な作業を保
育園が担うこととなりました。

小国町独自の支援策

こうした中、本町においては
子育て環境の充実と保護者の負
担軽減を図るため、保育園等に
通う全ての子どもたちの副食費
を町が独自支援することとしま
した。これにより、3〜5歳児
については、副食費も含め保育
料に係る部分が完全無償化とな
っています。

を支給

■保育料の軽減（3〜5歳は無料）

18歳未満の児童が3人以上いる世帯の
第3子以降の保育料無料。同時入所およ
び同時入所以外の第2子の保育料半額

■母子家庭等修学費援助

母子家庭・父子家庭お
よび父母のいない家庭で
養育されている小・中・
高校のいずれかに在学し
ている児童生徒の修学費
を援助

■保育園副食費の無償化

保育無償化に伴い発生した副食費（お
かず・おやつ）負担額を町から各保育園
に補助

■病後児保育室の開設

病気の回復期にあり、集団または家庭
での保育が困難な場合に、看護師と保育
士が連携して子どもを預かります

■子育て支援医療給付

0歳児から高校3年生までの医療費を
全額助成

■ひとり親家庭等医療給付

18歳以下の児童生徒を扶養している、ひ
とり親家庭等を対象に医療費を全額助成

■児童扶養手当

ひとり親家庭等で父もしくは母または
養育者に、一定の条件を満たした場合に
手当を支給

■就学援助

町立小・中学校在籍の児童生徒がいる
世帯で、就学が困難な家庭に、学用品や
給食にかかる費用を助成



～令和元年9月30日

令和元年10月1日～

1号認定
(幼稚園、認定こども園等)

2号認定
(認定こども園、保育園等)

1・2号認定
(幼稚園、認定こども園等)

小国町の場合
(全ての子ども)

※国の制度上でも一部世帯については、副食費が免除されています。

※町内の認定こども園、保育園は主食費を、米飯持参に替えています。

保護者負担	1号認定 (幼稚園、認定こども園等)		2号認定 (認定こども園、保育園等)		1・2号認定 (幼稚園、認定こども園等)		小国町の場合 (全ての子ども)
	保育料		保育料		保育料 無償化		保育料 無償化 ※0～2歳児については、3号認定となるため、一部の世帯を除いて第1子、第2子の場合には保育料が発生します。
	副食費		副食費		副食費		免除(町負担)
主食費	実費		実費		実費		実費

▲幼児教育・保育の無償化による保護者負担の変化



▲例年9月末に行われる高齢者体育大会では町内各保育園が元気いっぱい踊りを披露する

今年4月に保育園に入園した年少(3歳)児の子どもを持つ鈴木秀人さん・沙耶香さん夫婦(小玉川)は、「保育園で説明会が開かれ、無償化といえども負担があると思いましたが、副食費分も町が負担するという話を聞き、小さな町だけどこまでしてくれるのかと思い、とてもありがたかったです。町には子育てに関する多くの制度があり、大変ありがたいです。一方で、遊ぶ場という面では、ちょっと遊ばせたいと思っても町外に行かざるを得ません。以前、高島町の廃校体育館を改装した



▲鈴木秀人さん・沙耶香さん夫婦と娘さんの香椰乃ちゃん

施設に行ったのですが、小国町にも使われていない施設がありますので、親子が一緒に楽しく遊べる場所があればいいと思います。小国町は自然環境が抜群です。雪は多いかもしれませんが、それを体験できない子どもいると思うと、色々な体験ができる町です。また、人が少ないことで、色々な役割を担うため多くの経験を積むことができ、それが子どもの成長につながると思います。小国町でさまざまな体験や勉強をして子どもと一緒に楽しく生活していきたいですね。」と話してくださいました。

子育てしたい町おぐにへ

人口減少や少子高齢化が進行し、生活様式や価値観が多様化する中で、町ではこれまでも誰もが安心して妊娠・出産・子育てのできる環境の整備を進めてきました。そして、この10月から消費税増税分を財源に保育料等の無償化をはじめ、各種子育て支援策が展開されるなど、国全体で子育てに対する支援が講じられています。公費を投じて子育てに対する支援を拡充する背景には、これまでの子育ては家庭で行うものという認識から、子育ては地域全体で担っていくものという、メッセージなのかもしれません。

町では、子どもや子育て家庭の状況と地域の実情を踏まえ、子どもの健やかな育ちと保護者が子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを実感できる環境を地域全体で創出するための支援を今後とも展開していきます。

お知らせします

小国町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、職員数、給与、勤務条件等の状況について、その概要をお知らせします。なお、詳細は町ホームページで公開しています。(http://www.town.oguni.yamagata.jp)

■主な職員手当の状況（一般職）

（平成31年4月1日現在）

扶 養 手 当	・ 子ども 1 人につき10,000円、その他6,500円 （満16歳から22歳までの子につき5,000円加算）
住 居 手 当	・ 借家 月額12,000円を超える家賃を支払っている職員に対し、 27,000円／月を限度に家賃に応じて支給
通 勤 手 当	通勤距離2.0km以上を対象に支給 ・ 交通機関等利用の場合 運賃等相当額 限度額55,000円／月 ・ 自動車等利用の場合 距離数に応じて支給 2,500円～30,900円／月
期末勤勉手当	基準日（6月1日、12月1日）に在職する職員に支給

（各年度一般会計決算）

時 間 外 勤 務 手 当	区 分	支 給 総 額	1人当たり平均支給額
	29年度決算額	36,197千円	361千円
	30年度決算額	28,176千円	296千円

（平成31年4月1日現在）

退 職 手 当	自己都合	応募・定年
勤続20年	19.6695月	24.586875月
勤続25年	28.0395月	33.27075月
勤続35年	39.7575月	47.709月
最高限度額	47.709月	47.709月
※定年前早期退職者に対して2%～45%の加算措置有り		

■特別職の報酬の状況

（平成31年4月1日現在）

		月 額	期 末 手 当
給 料	町 長	810,000円	6月期 1.65月分
	副 町 長	630,000円	12月期 1.65月分
	教 育 長	560,000円	合 計 3.3月分
報 酬	議 長	310,000円	6月期 1.65月分
	副 議 長	250,000円	12月期 1.65月分
	議 員	235,000円	合 計 3.3月分

※特別職の期末手当は、給料月額に35%加算したものに支給割合を乗じます。

■勤務時間（標準的なもの）

（平成31年4月1日現在）

1週間の勤務時間	勤務時間の割り振り			週休日
	始業時間	終業時間	休憩時間	
38時間45分	8:30	17:15	12:00～13:00	土曜日・日曜日

■休暇制度の概要

有給 年次有給休暇・病気休暇・特別休暇（結婚、出産、忌引き、夏季休暇、社会奉仕活動など）
無給 介護休暇・組合休暇

■問合せ先 総務課行政管理室（☎62-2112）へ



町職員の給与・人事行政の内容を

■採用の状況

(平成31年4月1日)

	男	女	合 計
一般行政職	2人	1人	3人
医 師 職	1人	0人	1人
技能労務職	1人	0人	1人
そ の 他	0人	2人	2人
合 計	4人	3人	7人

■退職の状況

(平成30年4月1日から平成31年3月31日)

	男	女	合 計
定 年 退 職	2人	0人	2人
応 募 退 職	0人	0人	0人
普 通 退 職	3人	2人	5人
合 計	5人	2人	7人

■職員数の状況

(平成31年4月1日現在)

	一般行政職	税務職	医師職	医療技術職	看護 保健職	福祉職 (保育・介護)	企業職	技能労務職	その他 教育職	合計
30年度	95人	7人	5人	18人	43人	12人	2人	5人	1人	188人
31年度	96人	7人	4人	17人	43人	13人	1人	6人	1人	188人
増 減	1人	0人	-1人	-1人	0人	1人	-1人	1人	0人	0人

※町長、副町長、教育長を除いた人数です。

■一般行政職の級別職員数の状況

(平成31年4月1日現在)

	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級
標準的な職務	主事補・主事	主事	主任	係長・主査	室長	課長
職 員 数	23人	7人	16人	22人	13人	15人
構 成 比	24.0%	7.3%	16.7%	22.9%	13.5%	15.6%

■人件費の状況

(平成30年度一般会計決算)

住民基本台帳人口 (平成31年3月末)	歳 出 総 額 (A)	人 件 費 (B)	人 件 費 率 (B / A)	29 年 度 人 件 費 率
7,508人	6,285,066千円	890,133千円	14.2%	14.1%

■職員給与費の状況

(各年度一般会計当初予算)

区 分	職員数 (A)	給 与 費				1 人 当 た り 給 与 費 (B / A)
		給 料	職 員 手 当	期末勤勉手当	計 (B)	
30年度	109人	386,521千円	72,105千円	152,718千円	611,344千円	5,608千円
31年度	109人	398,039千円	87,147千円	161,569千円	635,237千円	5,828千円

■平均給料月額・平均年齢

(各年度4月1日現在)

区 分	平成30年度			平成31年度		
	平 均 年 齢	平均経験年数	平均給料月額	平 均 年 齢	平均経験年数	平均給料月額
一 般 行 政 職	40.1歳	19.0年	301,400円	40.8歳	19.3年	307,500円
技 能 労 務 職	41.1歳	18.1年	243,600円	40.4歳	17.3年	239,400円

■初任給の状況

(平成31年4月1日現在)

		小国町	国
一般行政職	大学卒	180,700円	180,700円
	高校卒	148,600円	148,600円
技能労務職	高校卒	146,000円	—

■ラスパイレス指数の水準

(各年度4月1日現在)

	28年度	29年度	30年度
小 国 町	94.4	95.1	96.1
県内町村平均	98.8	98.4	98.1
全国町村平均	96.3	96.4	96.4

※ラスパイレス指数は、国家公務員の給与水準を100とした場合の給与水準を示す指数です。



令和元年度古田歌舞伎定期公演

迫力の演技に歓声と拍手が送られる

令和元年度古田歌舞伎定期公演が、10月26日、小国小学校アリーナで開催され、町内外から多くの観客が来場し、江戸時代から古田地区に伝わる伝統芸能を鑑賞しました。

今年は古田歌舞伎が昭和61年に復活して以来初めて4演目（寿式三番叟・一谷嫩軍記二段目陣門、組討ちの場・白波五人男・傾城阿波の鳴門どんどろ大師の場）が披露され、役者の熟練した迫力の演技に会場からは大きな歓声と拍手が送られました。



第38回飯豊連峰紅葉ジョギング大会

紅葉深まる飯豊山麓を駆ける

第38回飯豊連峰紅葉ジョギング大会（永井博嘉大会実行委員長）が、10月27日、旧小玉川小中学校を発着点とするコースで開催され、県内外から134人が参加しました。大会では、13キロ、5キロ、2キロ、ウォーク&ラン（6.5キロ）の4部門に分かれて健脚を競いました。参加者はゴールを目指し力走したり、紅葉を楽しみながら走ったりと、思い思いに秋色深まる飯豊連峰の麓、小玉川地区でのジョギングを楽しんでいました。



第33回黒沢峠祭り

歴史に思いを馳せ、交流を深める

第33回黒沢峠祭りが、10月27日、黒沢峠祭り広場などで開催され、町内外から多くのかたが参加しました。この日は、市野々側から黒沢峠を越えるトレッキングが行われたのち、祭り広場でバーベキューや地元のかたがたが用意した餅や漬物などに舌鼓を打ちながら、参加者同士の交流が行われました。参加者は、歴史ある敷石道に思いを馳せながら、ゆったりとした時間の流れの中、楽しいひと時を過ごしていました。

第2回Yui小国町民3×3バスケットボール大会

ハーフコートで熱い戦いを繰り広げる

第2回Yui小国町民3×3バスケットボール大会が、11月17日、小国町民総合体育館で開催され、中高生や社会人、7チーム約40人が参加しました。これは通常の半分のコートを使って3人制でバスケットボールを行うものです。攻守が目まぐるしく変わる中、参加者は日頃の練習や遊びで鍛えたドリブルやパスで相手の隙を見つけ、ゴールめがけてシュートを放ち、放物線を描いたボールがゴールに吸い込まれていました。





一貫作業システム現地検討会

効率的に再造林を行うために

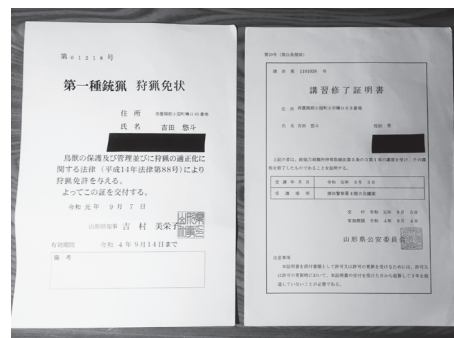
森林伐採後の再造林を確実に実施することで、森林の多面的機能が発揮されることから、伐採から植栽までを一貫して行う「一貫作業システム」が、近年、国で進められており、その現地検討会が、11月13日、小芦地内町有林で開催され、置賜森林管理署や山形県、管内市町から43人が出席しました。今年度、町が実施している一貫作業システムの現地で、管内の事業者や担当者が意見交換を行い、一貫作業の課題やメリットについて、見識を深めるとともに活発に意見が出されていました。

「今年中に猟銃を取得します」

地域おこし協力隊

よしだ ゆうと
吉田 悠斗

今年の9月に猟銃等講習会を酒田警察署で受けてから多くの手続きを踏み、とうとう鉄砲の所持許可申請をするまで至りました。狩猟免許を取ろうと思ったきっかけは、マタギのかたたちに人間と自然の関わりを教えてもらったことです。私は地域おこし協力隊として小国町に移住する前から、ウサギや熊の狩りに同行させてもらっていました。昔から人間の生活は自然とともにあり、山野から鳥や獣などの動物を取ってきては、食料や着物などの生活の糧にして暮らしてきたことを知りました。一方、近代日本での鉄砲所持は厳しく制限されています。それは、鉄砲の使い方を誤れば、簡単に人の命を奪えるからです。鉄砲を所持するということが、どのような責任を負うことなのか意識しながら、分業化が進む効率経済中心主義社会の中で、自分も山から命をいただくということの実践者になりたいです。



▲9月に取得した狩猟免許証と講習終了証明書

「気持ちの冬支度」

地域おこし協力隊

いわい たくま
岩井 拓磨

もうじき冬が来る。町中どこも冬支度がされている。町中の除雪機たちが目を覚ました。動物は眠り春に備え、人間は雪に備える。太陽は忙しいのか、代わりに雲と雪が来る。また一面真っ白な世界がやってくる。2年目の冬だ。去年のことを思い出そうすると、雪かきの事しか思い浮かばない。それほど印象的だったのだろう。今年の積雪はどうなるのかな。「カメムシが多いから、雪も多い」という意見もある一方で、科学的解析から今年は「暖冬で積雪は少ない」とマスコミは報道している。私としては雪かきの労力が減るので暖冬であることを願っている。雪の降らない地方の人にとっては小国の雪は魅力的だ。テレビでしか見た事ない世界が目の前にあるからだ。私も最初はそうであったが、次第に気持ちが変わっていき、雪は面倒くさいと感じるようになった。これは小国に染まりつつあるのか、あるいは私がただの面倒くさがりなのか。



▲保育園も冬支度仕様に

山の「豊かさ」を伝え継ぐ

⑧ ブナ（木地づくり）

すっかり葉を落とした、初冬のブナ林。曇り空の合間に林へ差し込む、柔らかな日差しが、その樹肌を白く輝かせます。かつては「木地師の里」として知られていた北部の五味沢地区。人びとは、雪が降り始めるこの時期に素材であるブナ材を求め、人里離れた荒川の上流部へと分け入っていました。

木地師（木地屋やろくろ師などとも呼ばれる）は、ろくろという工具を用いてブナやトチなどの原木からお椀やお盆といった木地を彫り出す職人のことです。五味沢でいつ頃から木地づくりが始まったのかは定かではありませんが、近世から明治期にかけては農閑期（冬期）における副業の一つとして盛んにおこなわれていました。『小国町史』によると、町内では五味沢の他に、玉川や明沢、高野、赤沢な

どの集落でも木地づくりがなされていました。ただし、五味沢には一時、漆塗りの塗師もいて、当地で生み出された「五味沢塗」の名声は県内外に知られるほどだったようです（『小国町史』による）。

しかし、経済的な問題や、プラスチック製品といった代替品の登場などにより、大正、昭和と時代が移るなか五味沢の木地づくりは衰退していき、戦後ほどなくしておこなわれなくなりました。それから既に半世紀以上が経ち、その伝承は途絶えつつあります。そのようななか五味沢の佐藤政彦さん（昭和7年生まれ）は最後の頃の様子を知る数少ない一人です。青年の頃、山で伐った材を川に流して集落まで運ぶ、木流しをしたことがあるという佐藤さん。実際に木地づくりで使われていたチョウ

ナを見せてもらいながら、木流しなど木地づくりについてのお話をうかがいました。

「ブンギリ流しって言うてよ、木を丸太にして流してきたんだ。流し方やるようになったのは尋常高等小学校の2年あがつて（卒業して）からだ。

木伐るのは親父らの仕事。作り物する家の衆一人ずつ、山さ行って共同でした。最後まで（木地づくりを）してたのはうちを入れて4軒だな。伐るのは全部ブナ。それもまっすぐな良いのばり（ばっかり）。稲刈り終わるとよ山さ入ったもんだ。



▲初冬の荒川上流（シラブ平）のブナ林

伐った木はその場で丸太にして、川のそばまでまくってくるんだな、柴伐って道作って。だから（川岸から）あまり遠いところの木は伐らねえのよ。ちゃんと川流す段取りからみな見てやるから。大きなのは川のそばまで持ってきて真ん中で（縦に）二つに割ることもあったな。ほだな、直径2尺5寸（約70cm）くらいまでは伐ってた。

川までまくってきたら、これはお前の、これは誰のつて分けて、家ごとの判つけんだ。そうしてから、今度、てんで（各家ごと）で流していった。ずつつ

とついて歩くんだ。それも今頃、12月に入ってたな。この時期は水決まるからよ。雨降っても奥の方さは雪になって、一定の水しか流れねえから。ほんでねくて早い時期に流してしまおうと、大水出たらあっちこっちに木が流されてしまっんだ。それを本流さ、また担いで持つてこねえばなんねくて大変なんだ。」佐藤さんはそう話します。

雪が舞うこの時期、川の水は身を切るような冷たさです。そのなかでのブンギリ流しは相当



▲ろくろ挽きされた木地碗（白い森くらしの資料館所蔵）

な重労働であつたに違いありません。「ちようどオレ、学校卒業した年だ。ブンギリ流しに行つたら大吹雪になって。『いや、これはダメだ。寿命縮まる。』って、急いでハンナリにあつた小屋に逃げて来たぞて。ただでさえ、今みたいに履き物も良くねえべ、ほとんど素足みたいなもんだ。おまけに猛吹雪で。ほんにひでかつた。」と佐藤さん。こうして荒川本流、さらには集落内の水路を通つて家の前まで運ばれたブンギリ（丸太）は



▲佐藤さん所蔵の木地づくり用チョウナ

外削りチョウナ（左・真ん中）と中削りチョウナ（右）

まず、木地の大きさに合わせ鋸で細分されます（小割り）。次に、チョウナで外側と中を荒削りする荒型づくりがおこなわれます。そして最後に、それらをろくろで挽いて木地ができあがるのです。佐藤さんがブンギリ流しに携わるようになった頃は、集落内にあつた木地工場で、水車を動力とするろくろ挽きがおこなわれており、そこへ出すための荒型づくりが各家での冬仕事だったそうです。

「良い木ばり伐つてくるから、そのままだとパンと割れてしまっんだ。だから1回鍋で（材を）煮て、それから（外削り）チョウナで削つて形を作るんだな。それ今度、婆さんたちがカコン、カコンつて中彫るわけだ。両方の足さ、布ぼろ巻いて（木地を）挟んで。そしてくるっ、くるつて足で回しながら削るんだ。ほんに上手なもんであつたぜ。」と佐藤さんは言います。

木地づくりが五味沢でおこなわれていた頃は、より



▲木出し用の判

小口に打ち、どの家のものか分かるよう印をつけた。

（白い森くらしの資料館所蔵）

良いブナ材を得るため、ハンナリ平から奥、遠くは集落から十数キロも離れた角檣沢付近まで泊まりがけでの木伐りがおこなわれていたそうです。車道もなかった時代、そのような奥山から原木を運び出すには、荒川の流れが重要な役割を果たしていました。しかし、それだけでなく、それをうまく利用して確実に集落まで運び出すための技や知恵もまた不可欠なものであつたに違いありません。それらを駆使し、豊かな森の恵みを「資源化」することで未来を拓いてきた人びとの活力。それこそが、木地づくりという地域の産業を支える原動力だったのです。

令和元年度 文化の日表彰式

令和元年度文化の日表彰式を11月3日、おぐに開発総合センターで開催し、本町の振興発展に貢献された21人を表彰しました。表彰内容と受賞者は次のとおりです。

されました。

■功労表彰

米野 貞雄 氏（大滝）

昭和62年から8期32年の永きにわたり町議会議員として、議会運営はもとより、町の振興発展に大きく貢献されました。

伊藤 重廣 氏（河原角）

平成7年から6期24年の永きにわたり町議会議員として、議会運営はもとより、町の振興発展に大きく貢献されました。

伊藤 孝太郎 氏（田沢頭）

昭和48年に消防団に奉職以来、46年の永きにわたり職務に精励し、平成25年からは消防団長として、消防団組織強化と地域防災活動に尽力されました。

舟山 堅一 氏（小玉川）

平成16年から15年間にわたり山形県自然公園管理員として、飯豊連峰周辺の環境保全に貢献

遠藤 公 氏（栄町）

平成19年から12年間にわたり町選挙管理委員会委員長を務められ、公平公正な選挙の執行管理に貢献されました。

故 古澤 茂堂 氏（山形市）

平成11年から町顧問弁護士として、本町の法務事案の安定的な運用を指南され、町勢発展に大きく貢献されました。

故 舟山 鐵四郎 氏

故 舟山 ふさ子 氏（小玉川）

泡の湯温泉三好館を引き継ぎ、三好荘として、炭酸温泉を守り続けるとともに、巧みに地域資源を生かすなど本町の観光振興に尽力されました。

故 石垣 正憲 氏（田沢頭）

地域営農の振興と集落活性化

に貢献し、田沢頭集落を平成22年度豊かなむらづくり全国表彰農林水産大臣賞に導きました。

■感謝状

鈴木 一雄 氏（東京都）

永年にわたり本町を会場に写真教室を主宰し、多くの小国ファンと写真愛好家を育まれるとともに、写真集「サクラニイキル」の原画作品を多数寄贈いただきました。

■永年勤続表彰

文化財調査委員（15年以上）

益田 則雄 氏（幸町）

民生委員・児童委員（12年以上）

小嶋 建男 氏（足野水）

渡部 八江 氏（叶水）

小林 貞子 氏（兵庫館）

遠藤 美恵子 氏（大宮）

駐在員（10年以上）

志田 藤夫 氏（伊佐領）

川崎 鉄雄 氏（町原）

伊藤 哲晴 氏（玉川）

渡部 茂雄 氏（岩井沢）

交通指導員（10年以上）

本木 勇二 氏（小国小坂町）

農業振興組合長（10年以上）

小野 正利 氏（叶水）

飯豊朝日を愛する会が環境やまがた大賞を受賞

特定非営利活動法人飯豊朝日を愛する会（高橋健二理事長）が、環境やまがた大賞を受賞されました。

同会では、環境省や林野庁などと協力しながら、飯豊連峰の登山道の維持管理や補修のほか、裸地化した登山道等において、高山植物の種をまくなど復元作業を実施しています。さらに、保全活動には一般参加者を募集しながら多くの人と活動を展開しており、こうした活動が高く評価されました。



令和2年4月からの新入園児を募集します

- 申込期間 令和元年12月9日(月)～13日(金)【18：00まで受付をしています】
- 申込書 12月2日(月)から健康福祉課、各保育園で配布します。
- 申込方法 新たに利用を希望するかたは、申込書と必要書類（詳細は配布時に説明します。）を提出してください。（現在入所している保育園で来年度も継続を希望するかたは、今回の申込みは不要です。）

認定こども園・保育園 ■申込先 1号認定希望者はすみれ保育園へ、2・3号認定希望者は健康福祉課へ

施設名	認定区分	定員	対象児童 (R2.4.1現在)	開所時間（延長保育含む）	
				平日	土曜日
すみれ保育園	1号	6人	3～5歳	9：00～14：00 (14：00以降預かり保育可)	休園（預かり保育可）
	2・3号	100人	0～5歳	7：15～19：15	7：15～18：15
白百合保育園	2・3号	80人	0～5歳	7：00～19：00	7：00～17：30
おぐに保育園	2・3号	60人	0～5歳	7：30～18：00	7：30～18：00（第1・3・5） 7：30～12：30（第2・4）

■保育料（保育所・認定こども園）について
町が定める基準に基づき、保護者の課税状況（父母合算）と児童の年齢により決まります。3～5歳児は国の制度改正により保育料は無償となりました。

■問合せ
健康福祉課
(☎61-1000) へ

【保育所等を利用する場合の認定区分】

認定区分	対象者	主な利用施設・事業	利用できる時間
1号認定	3歳以上のお子さんで、保育を必要とせず教育を希望する場合	認定こども園（教育部分）	教育標準時間認定 (最低4時間/日)
2号認定	3歳以上のお子さんで、「保育を必要とする事由」に該当し、保育を希望する場合	保育所 認定こども園（保育部分）	保育標準時間認定 (最大11時間/日)
3号認定	3歳未満のお子さんで、「保育を必要とする事由」に該当し、保育を希望する場合	保育所、認定こども園	保育短時間認定 (最大8時間/日)

令和2年度中央児童室
利用申込受付について

- 対象 放課後に家庭で養育することができない小学校に就学している児童で、令和2年4月から中央児童室の利用を希望するかた。（現在利用中のかたも申込みが必要です。）
- 申請書 12月2日(月)から中央児童室、各保育園、健康福祉課のいずれかでお受け取りください。
- 受付期間・場所 12月16日(月)～20日(金) 8：30～18：00 おぐに保育園
- 提出書類 小国町中央児童室入所申請書および必要書類
- 定員 80人（定員を超えた場合、低学年を優先して入所決定します。）
- 申込・問合せ おぐに保育園（☎62-2242）へ

小国町プレミアム付商品券の
申請期限を延長しました

- 「非課税のお知らせ」が届いたかたで、商品券の購入をご希望なさるかたは、商品券購入引換券の交付申請手続きが必要です。
- 申請期限 令和2年1月31日(金)当日消印有効
 - 申請先 小国町健康管理センター窓口
 - 購入限度額 お一人につき2万5千円（販売額2万円）。小さな乳幼児のいる子育て世帯のかたはお一人につき2万5千円（販売額2万円）×対象児童の人数（商品券は5回に分けて購入できます。1回あたり5千円分を4千円で購入できます。）
 - 商品券の販売について
 - 販売期間 令和2年2月28日(金)まで
 - 販売場所 アスモ1階特設会場およびまちの駅アスモ
 - 問合せ 健康福祉課（☎61-1000）へ

入札結果情報（令和元年10月21日～令和元年11月20日実施）

単位(円)

入札日	工事名	施行場所	工期（完了）	予定価格	落札業者	落札価格
R1.10.29	令和元年度町民総合体育館外装改修工事	岩井沢	R2.3.31	73,200,000	(株)高橋工務店	73,000,000
R1.11.1	令和元年度針生地区耐震性貯水槽40m ³ 型整備工事	針生	R2.1.24	7,247,000	(株)船山工務店	7,000,000
R1.11.1	令和元年度小国町水道事業水道管路漏水調査業務委託	小国小坂町ほか	R1.12.25	2,000,000	フジ地中情報(株)東北支店	1,600,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

飯豊山系（荒川流域）直轄砂防記念事業

「土砂災害から地域を守る」シンポジウム・砂防ツーリズム

羽越水害を契機に国土交通省北陸地方整備局飯豊山系砂防事務所が、1969（昭和44）年に荒川流域における国直轄砂防事業に着手してから今年で50年を迎えました。この節目の年に同事務所では、羽越水害を風化させることなく次世代に語り継ぐとともに、土砂災害の恐ろしさや命を守る



▲松岡砂防堰堤群を見学する参加者

る行動の難しさを認識し、土砂災害対策の大切さを地域とともに考え、今後のさらなる防災・減災対策の向上に資するように、実行委員会を組織して記念事業を計画してきました。

11月4日に行われた「あらかわ治水砂防めぐり砂防ツーリズム」では、飯豊山系砂防事務所がこれまで整備してきた特徴ある砂防施設を巡りました。この日は、町内南部方面の七助沢砂防堰堤（えんてい）や玉川スーパードラマ（あきよ）砂防堰堤、さらには松岡砂防堰堤群、横川ダムなどを見学したほか、砂防施設工事用道路として整備し、現在は森林セラピーロードとして利用されている温身平森林セラピー基地やマタギの郷交流館を訪問しました。参加者は普段近くで目にするこの建

設背景や施工方法など、砂防施設にまつわる話を聞くとともに、その大きさに驚いたり、土砂災害の危険性などについて再認識したりしていました。

また、11月5日には「土砂災害から地域を守る」シンポジウムが、おぐに開発総合センターで開催されました。

シンポジウムでは、国土交通省水管理・国土保全局の今井一之砂防部長が、「土砂災害の恐ろしさ 土砂災害対策の大切さ」と題して基調講演を行いました。今井氏は、今年10月12日に日本に上陸した台風19号による各地の被害状況等を交えながら、土砂災害が発生する場所の特徴や状況、砂防堰堤の役割や効果などについて話されました。そして、土砂災害対策においては、住民自らが土砂災害の危

険性を認識し、避難行動につなげていくことが重要であるとし、「まずは市町村が配布するハザードマップで、自分の家の立地状況など身の回りのことを知ってほしい」と呼びかけました。また、山形県警察警備2課の太田善久災害対策官も特別講演し、災害発生時の早期避難の重要性を話されました。



▲シンポジウムで基調講演を行った国土交通省水管理・国土保全局の今井一之砂防部長

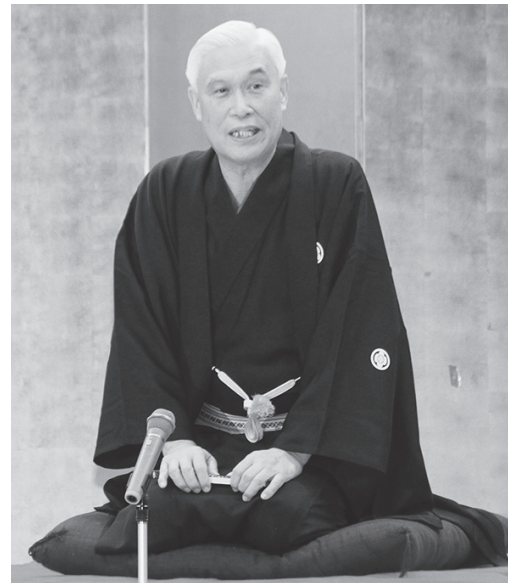
山遊亭金太郎 故 佐藤敏弘氏を偲んで

去る9月17日、落語家で白い森ふるさと大使の山遊亭金太郎師匠（本名 佐藤敏弘氏）が享年63歳でご逝去されました。金太郎師匠の告別式は、9月25日に千葉県我孫子市内において、しめやかに執り行われました。本町からも山遊亭金太郎後援会などから多くのかたが参列し、故人の功績をたたえ遺徳を偲び、最後のお別れをしました。

また、金太郎師匠の2回目の月命日となる11月17日には「山遊亭金太郎師匠追悼寄席」が、おぐに開発総合センターで開催され、町内外から多くのかたが来場しました。この日は、山遊亭金太郎子供落語教室で金太郎師匠から指導を受けた子どもたちが落語を披露したほか、師匠と交友のあった講談師の神田桜子さんや弟子の山遊亭くま八さん、落語芸術協会理事で真打の三笑亭夢太朗さんが講談と落語をそれぞれ披露し、金太郎師匠との思い出話も交えた話で会場に訪れたかたがたを魅了しました。

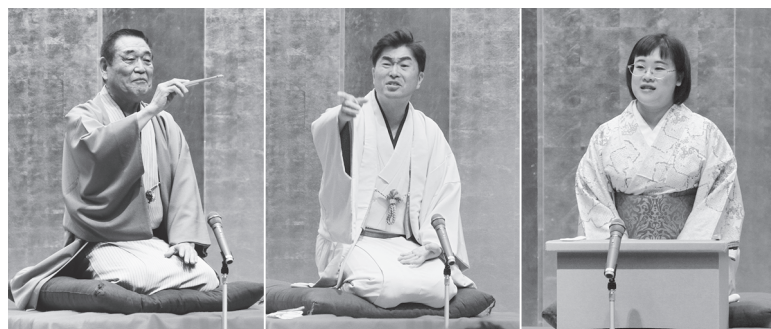
【山遊亭金太郎師匠の略歴】

- 1956年 山形県小国町に生まれる
- 1978年 陸上自衛隊除隊後、2代目桂小南師匠に入門、弟子入り。
前座名は「南てん」
- 1982年 二つ目昇進、師匠の前名である山遊亭金太郎に改名
- 1991年 真打昇進
- 2011年 東日本大震災時には予備自衛官として復興支援に従事
- 2015年 白い森ふるさと大使に就任
- 2018年 噺家40周年を迎え、小国町で記念寄席を開催
- 2019年7月8日 入院先の筑波大学付属病院で入院患者向け独演会が最後の高座となった
- 2019年9月17日 63歳で天に召される
- 2019年11月17日 小国町で追悼寄席が開催される



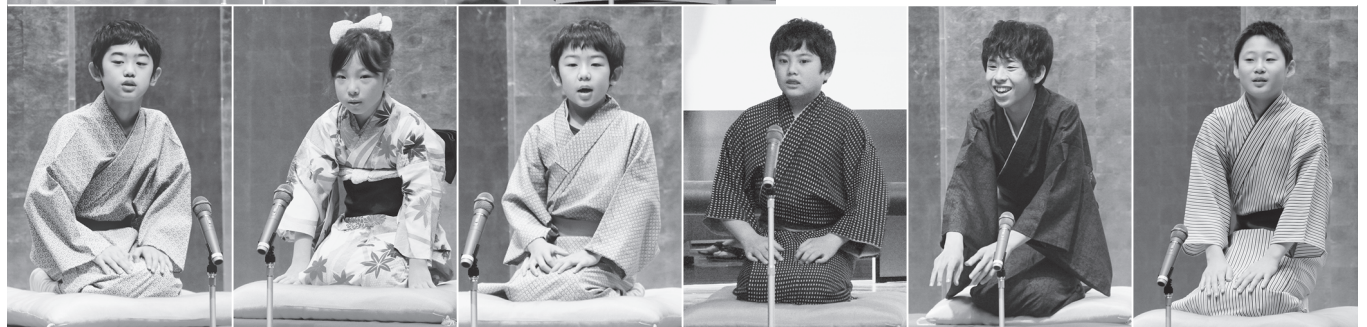
▲昨年11月11日噺家40周年記念寄席が、ふるさと小国での最後の高座となった

▶鍋まつりでは司会を務め、小国の秋の名物行事を盛り上げた



◀山遊亭金太郎追悼寄席に出演した真打の三笑亭夢太朗さん（左）と弟子の山遊亭くま八さん（中）、講談師の神田桜子さん（右）

▼山遊亭金太郎師匠から指導を受けた子供落語教室の左から竜じん（高橋明杜くん）、ひばり（中原雪月さん）、こころ（高橋結くん）、しゅん乃（吉田峻祐くん）、ごん助（高橋陸くん）、鈴た（佐藤凜太郎くん）



募集

町営住宅入居者募集

①町営住宅小坂町団地

3DK 2戸(3・4階)

■家賃 所得と家族構成による

■その他 所得制限あり

②町営住宅あけぼの高齢者団地

1LDK 1戸(1階)

■家賃 所得と家族構成による

■対象

▽世帯所得が21万4千円以下

で住宅に困っているかた

▽60歳以上のかたで自立した

生活を送ることができ、同

居するかたが配偶者または

60歳以上の親族であること

①②共通

◎敷金 家賃の3カ月分

◎募集期限 12月10日(火)

◎入居時期 12月下旬以降

◎問合先 地域整備課建設管

理室(☎62・2431)へ

県営住宅入居者募集

■募集住宅 3DK 10戸

■家賃 所得により決定

■対象 入居世帯の所得制限あり

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期間 12月9日(月)～13日(金)

■入居時期 2月上旬

■申込先 置賜総合支庁西庁

舎(長井市) 総合案内窓口

■問合先 県営住宅指定管理者

(株)西王不動産置賜事務所(☎

0238・24・2332)へ

ご案内

休日・夜間納税相談のご案内

仕事などの都合により、平

日の日中に税金や保険料の納

付に係る相談を行うことが困

難なかたのため、休日・夜間

納税相談窓口を設置します。

ぜひご利用ください。

■休日納税相談日

12月8日(日)9時～16時30分

■夜間納税相談日

12月9日(月)～12日(木)

17時30分～20時

■場所 役場町民税務課窓口

■その他 役場正面玄関から

お入りください。

■問合先 町民税務課収納担

当(☎62・2403)へ

お知らせ

12月分の上下水道料金から
冬季暫定水量による請求と
なります

例年どおり、12月～翌年4

月までは降雪により水道メー

ター検針ができないため、冬

季暫定水量にて上下水道料金

を請求します。また、冬季暫

定水量の計算方法について今

年度より一部変更して運用し

ます。なお、各世帯の冬季暫

定水量については別途個別に

通知します。

■冬季暫定期間

12月から翌年4月

■冬季暫定水量

今年度より11月分の使用水

量とします。

※冬季暫定期間中に使用開始

する場合は、世帯人数によ

り設定します。

■過剰納付の場合

これまでの差額を還付して

いましたが、今年度より翌

月以降の水道料金に充当さ

せていただきます。

■納付不足の場合

翌年5月に精算額との差額

を請求いたします。

■問合先 地域整備課水道業

務担当(☎62・2431)へ

指定ごみ袋等の価格改定について

消費税増税および物価上

昇、ごみ処理施設の老朽化に

よる補修費の増加、ごみの減

量化、リサイクル推進のため、

指定ごみ袋等の価格を令和2

年4月1日に改正します。

■改正後の指定ごみ袋の価格

可燃・不燃ごみ袋(大)

500円→550円

可燃・不燃ごみ袋(小)

350円→370円

※資源袋はリサイクル推進の

ため価格据え置き

■その他 買い置きの価格改

定前の指定ごみ袋は価格改

定後も使用できます。また、

収集粗大ごみ(一部品目)

の処理手数料も改正し、令

和2年4月1日以降の収集

から適用となります。

■問合先 置賜広域行政事

務組合千代田クリーンセン

ター(☎0238・57・

4004)へ

12月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■4カ月児健診

- ・期 日 12月20日(金)
- ・受付時間 13:10~13:20
- ・対 象 令和元年8月生まれ

■1歳児健診

- ・期 日 12月20日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 平成30年12月生まれ

■1歳6カ月児健診

- ・期 日 12月13日(金)
- ・受付時間 12:40~13:00
- ・対 象 平成30年4月、5月、6月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他

母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センター (61-1000) へ

子育て支援センターから

■12月の広場日程

広場名称	曜日	時間	申込
なかよし広場	月~金	9:30~11:30・13:00~15:30 (水・金は午後のみ)	不要

■対象者 なかよし広場 就学前のお子さんとお家のかた

■その他 お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談に応じています。また、白百合保育園(水曜午前)、すみれ保育園(金曜午前)でも同様の場所を設けています。詳細は各保育園にお問い合わせください。

■問合先 子育て支援センター(おぐに保育園内 ☎62-2330)・白百合保育園(☎62-2436)・すみれ保育園(☎62-5284)

休日当番担当歯科医のお知らせ

12月1日(日)	南陽 桜井歯科医院	0238-43-2125
12月8日(日)	米沢 りんせんじ歯科	0238-21-6487
12月15日(日)	南陽 板垣歯科クリニック	0238-50-3348
12月22日(日)	白鷹 五十嵐歯科医院	0238-85-2075
12月29日(日)	米沢 近野歯科医院	0238-23-1187
12月31日(火)	米沢 長谷部歯科医院	0238-22-8110
1月1日(水)	長井 松下歯科医院	0238-87-0878
1月2日(木)	南陽 伊藤歯科医院	0238-45-2030
1月3日(金)	米沢 鈴木歯科医院	0238-23-0370
1月5日(日)	米沢 三條歯科医院	0238-23-2206

求 人 情 報

右の表は11月19日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。
求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

今月の納税 2019.12

12月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

- 12月26日(木) 水道料
- 12月25日(水) 固定資産税、国民健康保険税・後期高齢者保険料
- 1月6日(月) 介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合先

町民税務課税政管理室
(62-2403) へ

事業所名	職 種	求人数	勤 務 時 間
医療法人社団緑愛会満天の家	介護職(交替制)	1人	6:45~15:45他
(株)コメリ	店舗運営職・幹部候補(ナショナル社員)	1人	8:45~17:45他
ひさご電材(株)小国工場	内職担当	1人	8:30~17:30
	電線のアッセンブリー及び検査	1人	8:30~17:30
(有)東部開発	農作業員	3人	8:00~17:00
ハイコー(株)	電気工事(見習い可)	3人	8:00~17:00
NPO法人まんまる	支援員	1人	8:30~17:00
吉田直土木(株)	トンネル工事職員(契約社員)	2人	7:00~16:00他
	トンネル工事職員(正社員)	2人	
日清医療食品(株)仙台支店	調理師	1人	5:30~14:30他
安部工業(株)	現場監督員	2人	8:00~17:00
	型枠大工	1人	
	運転手	2人	
(株)山芳工務店	電気設備工(見習い)	3人	9:00~18:00
セキュリティプレシャス(株)	交通誘導警備員	5人	8:00~17:00
(株)ケーブプロダクツ	ショッピングサイト管理	1人	9:00~18:00
小国食糧(株)(栄町市場)	販売員	1人	8:30~17:30
	販売員	1人	8:30~18:30の間の5時間程度
ファミリーマート小国町店	コンビニ店員(小国町店・小坂町店)	3人	8:00~14:00他
(株)小国いきいき街づくり公社	販売員	1人	9:00~13:00他

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人掲載しています。
※町ホームページに求人情報を掲載しています。

12月の あいべイベント 親子野球教室



- 日 時 12月14日(土) 9:30～11:00
- 対象者 保育園年中児～小学生
(保育園児の場合保護者同伴)
- 参加費 100円/人 (保険料込)
- 持ち物 室内シューズ、飲み物、帽子、グローブ (貸出あり)
- 申込締切 12月11日(水)

冬休み小中学生ドッチボール大会

- 期 日 中学生の部 12月25日(水) 13:30～15:30
小学生の部 12月26日(木) 9:30～11:30
- 場 所 町民総合体育館
- 持ち物 室内シューズ、飲み物
- 参加費 100円/人 (保険料込み)
- 申込締切 12月24日(火)

■申込・問合せ先
(☎62-5808)

おぐにYui
スポーツクラブ

総合センター図書室から

～新着図書～

休館日 毎週月曜日・祝日

- | | |
|---------------|--------|
| ◇あなたの右手は蜂蜜の香り | 片岡 翔 |
| ◇絶望スクール | 石田 衣良 |
| ◇盲剣楼奇譚 | 島田 莊司 |
| ◇飛雲のごとく | あさのあつこ |
| ◇ことことこーこ | 阿川 佐和子 |

白い森おぐに教育フォーラム2019

本町が実施している保小中高一貫教育における各園や学校での子どもたちの取り組みを地域の皆さまに知っていただくため、今年もフォーラムを開催します。当日は、園児、小・中学生、小国高校生が一堂に会し、日ごろの成果を元気いっぱい発表します。皆さま、ぜひご覧ください。

- 日 時 12月7日(土) 13:00～16:00
- 場 所 おぐに開発総合センター
- 対 象 どなたでも
- 内 容 白い森おぐにの教育全体構想の説明、幼児・児童・生徒による実践発表ほか

■問合せ先 教育振興課教育振興室
(☎62-2141) へ

With優 出張相談会

- 日 時 12月24日(火) 10:00～14:00
- 場 所 おぐに開発総合センター研修室
- 内 容

不登校やひきこもり等の無料相談会。専門の相談員が学校や就労のことについて、本人やご家族からの相談に対応します。無料の相談会ですが、基本的に予約優先となります。お気軽にお問合せください。

■問合せ先 NPO法人With優 安達
(☎0238-33-9137) へ

年末年始の休館情報等について

	水道	町立病院 (一般外来)	小国中継施設 (リレーセンター)	町民体育館 あいべ	総合センター
12月28日(土)	パイプライン (☎62-2461)	休 診	休 み	休 館	通常営業
12月29日(日)	設備佐藤 (☎62-5606)		通常営業		浴室のみ営業
12月30日(月)	山一住設 (☎61-0123)				
12月31日(火)	小関住宅設備 (☎62-5347)		休 館		
1 月 1 日(水)	パイプライン (☎62-2461)				
1 月 2 日(木)	津島屋電機店 (☎62-2404)	休 診			
1 月 3 日(金)	小関住宅設備 (☎62-5347)				
1 月 4 日(土)	設備佐藤 (☎62-5606)				
1 月 5 日(日)	津島屋電機店 (☎62-2404)				
問 合 先	地域整備課建設管理室	町立病院 (☎61-1111)	小国中継施設 (☎63-2251)	町民体育館 あいべ	総合センター

※町立病院では、急患については一般外来の休診日であっても対応いたします。
 ※ごみ収集については、全戸配布をしているごみ収集カレンダーをご確認ください。



●小国町役場 ☎62-2111(代)fax62-5464
●総務課 (行政管理担当/管財・危機管理担当/財政担当) ☎62-2112 ●総合政策課 ☎62-2264
●会計室 ☎62-2406 ●観光経済室 ☎62-2416 ●農林振興室 ☎62-2408
●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260 ●国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403
●建設管理室 ☎62-2431 ●建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448



戸籍のまど

(1 0 月 届 出 分)

誕生おめでとうございます。

松 岡 加 藤 賢士朗 (賢 太 郎
フ オ ン

おくやみ申し上げます。

岩 井 沢 和 田 シヅエ	(93)
岩 井 沢 加 藤 康 雄	(88)
黒 沢 色 摩 千 帆	(23)
緑 町 高 力 六 夫	(88)
白 子 沢 片 桐 和 子	(92)
尻 無 沢 栗 田 雄 一	(85)
小 玉 川 舟 山 鐵 四 郎	(94)
若 山 舟 山 か お り	(44)
伊 佐 領 渡 部 ス ミ	(100)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際に
お申し出ください。

人口のうごき (令和元年10月31日現在)

人口	男・・・3,687人 (－ 6)
	女・・・3,734人 (－ 7)
	計・・・7,421人 (－ 13)
世帯数	3,036世帯 (－ 4)

編集後記

先日20日、小国町でも初雪が降り、ついに本格的に冬到来となりました。飯豊・朝日連峰の上部はすでに雪で真っ白になり、晴れた日には町中心部からその姿を肉眼で目にすることができます。既にインフルエンザが町内でも流行しだしていますので、体調管理と手洗いうがい忘れずに、残すところあと1カ月となった2019年、令和最初の年を大いに楽しみましょう。(斎藤)

仕事 vol.19 図鑑

株式会社 横川建設

代 表 者 代表取締役 渡部 康弘
従 業 員 数 22人
所 在 地 小国町大字杉沢111番地
事 業 概 要 一般・産業廃棄物処理業、総合建設業

(株)横川建設は、平成3年7月に建設業として創業しました。しかし、その後大量消費社会におけるゴミ問題が深刻化したことから、同社では、こうした社会環境変化に対応し、環境保全に取り組む必要性を認識し、小国の地から美しい環境づくりを目指し、平成11年に産業廃棄物収集運搬、平成14年に産業廃棄物処分量の許可をそれぞれ取得し、廃棄物の再資源化や有効活用に取り組んでいます。

同社の伊藤敏江常務取締役は、「当社は、産業廃棄物中間処理業として、廃棄物を手作業で分別し、資源として再生・再利用できるよう処理を行っています。家を解体する際、全てゴミになると思われがちですが、木材や金属、プラスチックなどに分別することで資源として再利用ができます。こうした事業をしていると、実体験として年々廃棄物が増えているのを感じます。当社がこの地でこうした事業が展開できているのも、地域のかたがたの理解と協力があつたからだと思っています。」と話してくださいました。また、約5年前に同社に転職された大友憲昭さんは、「昔から地球温暖化問題が叫ばれ、リサイクル推進が行われていますが、家庭でできる最初の一步が分別です。しっかり分別することで、ゴミだと思っていたものが資源になり、ゴミの減量につながり、ひいてはそれが地球環境を守ることにつながるのではないかと思います。」と話してくださいました。

同社では、「夢」「地球」「未来」をスローガンとして、環境に配慮した事業を展開しながら、夢のある地球環境を次世代に引き継いでいくため、廃棄物の再資源化、有効利用に取り組んでいます。



▲作業を監督する大友憲昭さん (写真右)

ドローンがみた、 おぐにの風景

No.8



⑧「朴ノ木峠朝日連峰展望台から」

「霧の中より昇る陽が われらの校舍照らすとき 授業始めの鐘がなる」。これは小国中学校の校歌の一部です。周囲を山々に囲まれた小国町。春や秋などに放射冷却や前日との気温差、湿度などの気象条件が整うことで、盆地特有の濃い霧が発生します。その濃い霧を上から眺めることができる場所のひとつが朴ノ木峠の朝日連峰展望台です。条件が整い、夜明けから早朝であれば一面に雲海が広がります。この日は、町中心部の霧が徐々に晴れる中、奥にはうっすらと雪をかぶった朝日連峰が雄大にたたずんでいます。大自然に囲まれた小国町だからこそ生まれるさまざまな景色を探してみたいいかがですか。